

2016年10月14日

テイツーの七感



look



stance



listen

TAY TWO
Seven feelings



sense



talk



think



mind



2016年6月29日 トレカパーク+ホビーパーク併設専門店新規出店(藤沢店)

株式会社テイツー

JASDAQ:7610

2017年2月期 第2四半期 決算説明会資料

<http://www.tay2.co.jp/>

目次

1. 第2四半期取り組み・振り返り

P.3-

2. 第2四半期決算概要

P.15-

3. 下期取り組み

P.18-

4. 通期業績予想の修正について

P.26-

5. 参考資料

P.29-

2017年2月期 第2四半期

取り組み・振り返り

2017年2月期の経営テーマ

2015年2月期の経営テーマ

収益力・成長力の基盤強化とコスト改革を組み合わせた強固な土台作り
次の成長に向けた揺るぎない土台の形成

2016年2月期の経営テーマ

粗利減を前提としながら、コスト削減によって利益を確保する
黒字化を阻害しない範囲で、次の成長に向けた布石を打つ

コスト構造改革と新商材成長を達成。過去の不採算事業も整理が完了

2017年2月期の経営テーマ

ローコストオペレーションの更なる取り組みと商材効率の強化
既存事業を基盤に、プラットフォーム事業の成長を図る

既存事業とプラットフォーム事業の両輪で走る

■ 当期の取り組みと第2四半期進捗

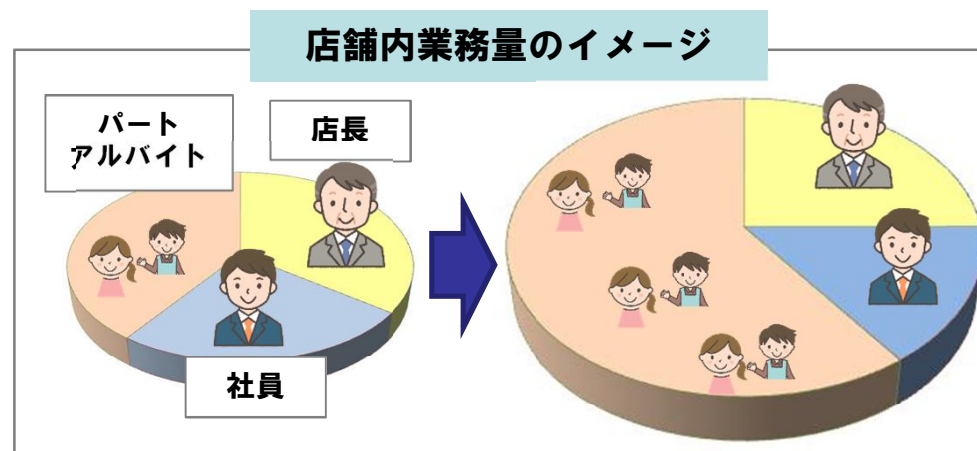
ローコストオペレーションの更なる取り組みの推進

● 店舗運営コスト低減施策の継続

総人件費を抑制する体制構築を推進

業務オペレーションの簡素化
パートアルバイトの教育・スキル向上

必要な労働時間（工数）を確保しつつ、
総人件費を抑制する体制構築を進める



● 販促手法の多様化による費用低減

ネットを活用し効率化を追求

Webチラシなどネットを活用した販促手法を取り入れる等、
効率的な販促方法の多様化により、販促費用を低減

第2四半期においては、厳しい消費環境を見越して
ダイレクトメールを実施、顧客誘導に一定の成果

毎月21日は
ふるいち
の日



■ 当期の取り組みと第2四半期進捗

商材効率の強化

● 既存事業の強化策

下降トレンドである商材をカバーすべく粗利貢献度の高い中古商材に注力する

- ・ 古本の強化・・・前期までに下落の止まった古本売上を、当期はプラスに転ずる
従来施策に加え、当期はコミック以外の分野にも注力
- ・ 中古トレカ・・・さらに大きな柱として育てるため、拡大策を維持
市場拡大に頼るのではなく、シェア拡大を目指した戦略を推進
- ・ 中古ゲーム・・・新品ゲームは減となるも、中古については維持
買い取り強化と回転率向上により前期並みを目指す
- ・ 中古ホビー・・・前期に大きく成長し、新たな商材として確立したホビーを強化
当期は専用POS（買取査定機）をほぼ全店に導入し、各店で売上拡大
- ・ 改装／出店・・・魅力ある店とするための改装に向け、前期以上に積極投資
店舗数の増加による利益の増加、固定コスト比率の低下を図る

「売上アップ・効率化・認知度向上・ノウハウ構築」全てにおいて強化

第2四半期の取り組み ①古本

- 古本の強化・・・従来施策に加え、当期はコミック以外の分野にも注力する

買取金額月間推移（主に児童書・雑誌・ムック等）

※コミック・文芸・文庫を除く商品群



買取増加により
品揃え充実・売場拡張に繋げる

売場拡張店舗の売上は好調に推移しており、今後も継続して取り組んでいく

第2四半期の取り組み ①古本

商品価値、お買い得感が伝わる売場へ

古本売場のサインツールを刷新
メディア商材売場についても同様に実施

**「見やすく・選びやすく・探しやすい」
売場を展開**



新たな取り組みとして新刊店舗への古本導入

ブック・スクウェア店舗にて古本・新刊本の併売を開始
古本小規模パッケージへの挑戦

■古本導入店舗

4月: 菰野店 (三重県) 5月: 松阪店 (三重県)
7月: 東大和店 (東京都)

**販売機会拡大
新刊店舗利益率改善に貢献**

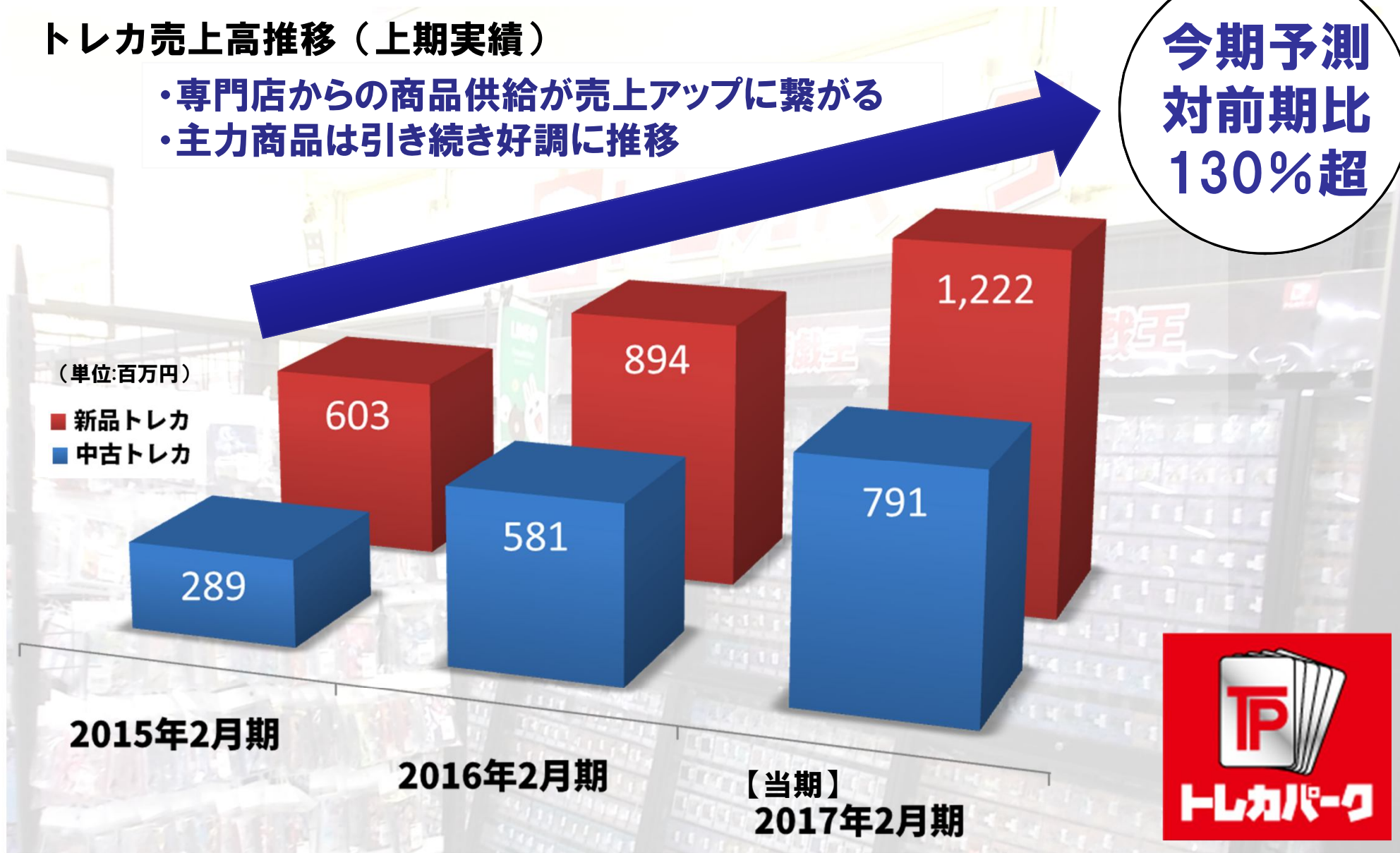


第2四半期の取り組み ②トレカ

トレカ売上高推移（上期実績）

- ・専門店からの商品供給が売上アップに繋がる
- ・主力商品は引き続き好調に推移

今期予測
対前期比
130%超



第2四半期の取り組み ②トレカ

- ・トレカ・・・専門店のノウハウを生かした商品確保が奏効
 - ・新品トレカの販売拡大に伴い、中古トレカの販売も拡大
 - ・トレカ専門店でのノウハウを生かし、各種施策成功例を全店にて展開

高価買取中

デュエルマスターズ ハムカツ団とドギラゴン

デュエルマスターズ	デュエルマスターズ	デュエルマスターズ	デュエルマスターズ
デュエルマスターズ 1474	デュエルマスターズ 1474	デュエルマスターズ 1474	デュエルマスターズ 1474
350円	350円	400円	300円

中古買取・販売
取扱開始

買取・販売ともトレカパークにおまかせ下さい!

トレカパーク

中古買取・販売

取扱開始

買取・販売ともトレカパークにおまかせ下さい!

トレカパーク

当たりの封入率
大増加中!!

夏のフェスガチャ
期間限定で登場!

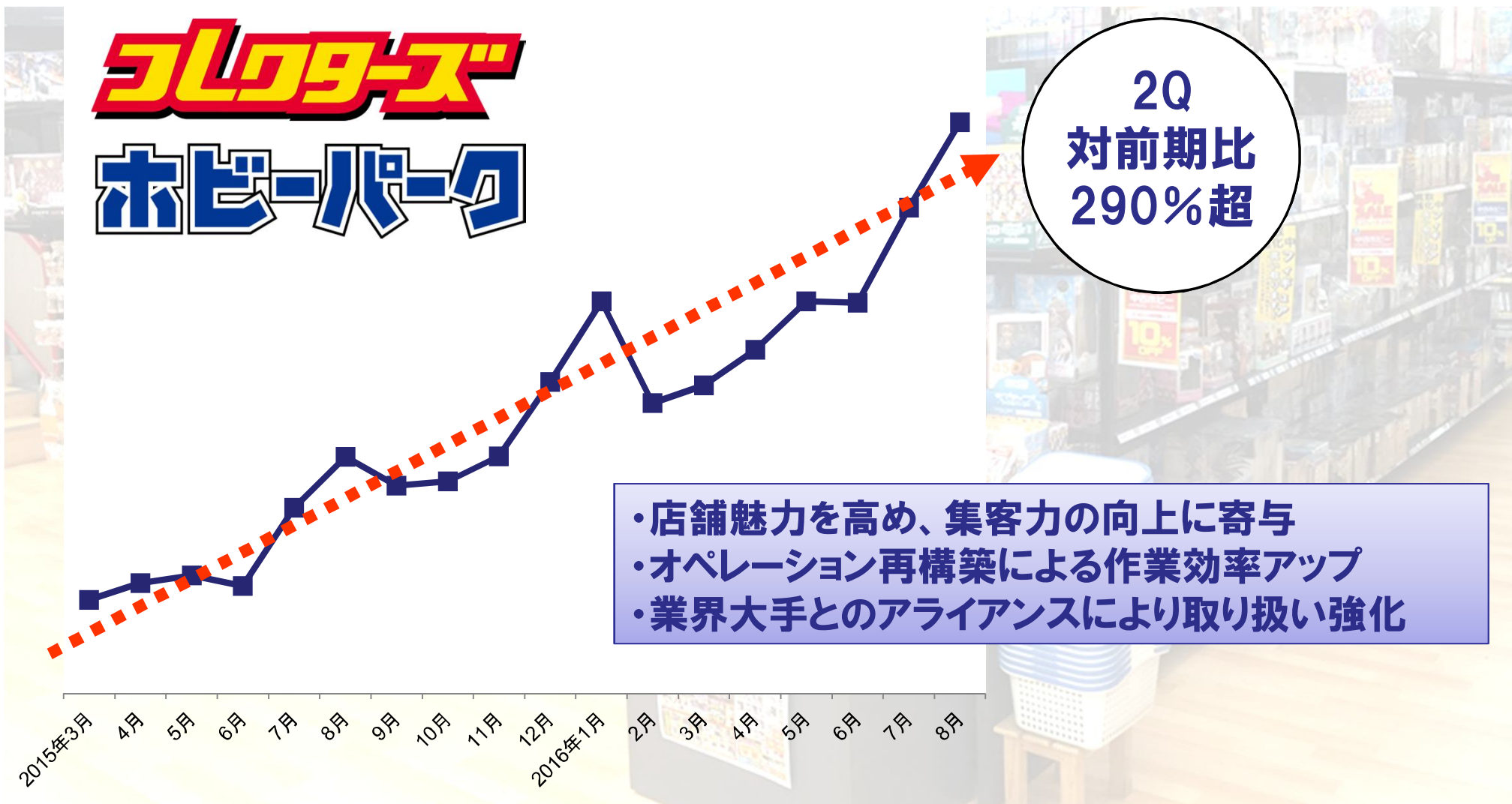
2016 Summer festival Gacha

※自動販売機の性質上、同じ商品が続出て出る場合があります。※カード見本はイメージです。

前期からの好調を維持
今後も商材確保を継続し、売上高の増加に努める

第2四半期の取り組み ③ホビー

- 中古ホビー・・・売場面積の拡大が奏功し、売上高が順調に拡大



第2四半期の取り組み ③ホビー

売場面積の拡張

既存店ホビー商材売場を大幅拡張し、品揃えの充実を目的とした改装を随時実施



当第2四半期売場改装店舗（第1四半期においては4店舗実施済）

リニューアルオープン日	店舗名	都道府県
2016年6月11日	古本市場 尼崎店	兵庫県
2016年6月25日	古本市場 幸手店	埼玉県
2016年6月25日	古本市場 京山店	岡山県
2016年7月 2日	古本市場 大東店	大阪府
2016年7月16日	古本市場 南茨木店	大阪府
2016年7月16日	古本市場 川西店	兵庫県

ホビーを中心に取扱商材の幅を拡充し、魅力ある売場を創る

第2四半期の取り組み ④新規出店



ホビー・トレカパーク 藤沢店
(2016年6月29日オープン)



古本市場 藤原台店
(2016年7月30日オープン)

当第2四半期においては2店舗を新規出店。
藤沢店はトレーディングカードの専門店「トレカパーク」にフィギュアなど
ホビー商材売場を併設した「ホビー・トレカパーク」として出店し、
複合商材による魅力的な売場を創る

第2四半期の取り組み ⑤その他施策

\\ みんなで選ぶ \\
古本屋大賞 マンガ編

HONZ × 古本市場 furuonline.net

人におすすめしたいマンガをみんなで選ぶ「古本屋大賞」！
あなたのおすすめマンガおしえてください！

古本市場スタッフはもちろん、お客様にも参加いただき、古本屋大賞マンガ編を決定します！
そして、東江真文氏率いるマンガレビューサイト「マンガHONZ」メンバーも特別選考委員として参加決定！

\\ みんなで選ぶ \\
古本屋大賞 マンガ編
2016



- ユーザーの投票により決定する「古本屋大賞 マンガ編」イベント実施
- ゲームタイトル発売に合わせて当社オリジナル商品を開発・販売
- VR視聴サービス「VR THEATER」の体験ブースを設置

2017年2月期 第2四半期 決算概要

2017年2月期 第2四半期 業績の概要

● 連結損益計算書

(単位:百万円)	2016年2月期 2Q累計期間	2017年2月期 2Q累計期間	増 減
売上高	13,660	13,089	△571
売上総利益	3,836	3,757	△79
営業利益	△149	△179	△30
経常利益	△128	△169	△41
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△206	△200	6
1株当たり親会社株主に帰属する 四半期純利益	△4円9銭/株	△3円96銭/株	

売上高/売上総利益

ゲーム有力タイトルの発売が下期にずれ込み、新品・中古ゲームを中心に前期に対し売上高が減収。
粗利に影響する。

● 単体損益計算書

(単位:百万円)	2016年2月期 2Q累計期間	2017年2月期 2Q累計期間	増 減
売上高	13,635	13,066	△569
売上総利益	3,839	3,747	△92
営業利益	△55	△149	△94
経常利益	△47	△146	△99
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△117	△167	△50

営業利益/経常利益

新規出店、店舗改修等により販管費が上昇。

※2016年6月1日にて株式会社モ・ジールを吸収合併したことに伴い、2Qより古着(モ・ジール)事業実績を含んでおります。

2017年2月期 第2四半期 連結貸借対照表の状況

連結貸借対照表 (単位:百万円)	2016年2月末		2016年8月末			主な増減理由
	金額	構成比	金額	構成比	前期末増減	
資産合計	9,284	100.0%	8,999	100.0%	△ 285	
流動資産	6,591	71.0%	6,227	69.2%	△ 363	(流動資産) ・中古品を中心とした在庫増強に伴う商品増加
現預金	2,145	23.1%	1,566	17.4%	△ 579	
売掛金	291	3.1%	286	3.2%	△ 5	(固定資産)
商品	3,710	40.0%	3,912	43.5%	202	・新規出店及び店舗改装に伴い、 建物・建物付属設備・リース資産がそれぞれ増加
その他	445	4.8%	464	5.2%	19	・関連会社株式整理等による減少
固定資産	2,693	29.0%	2,772	30.8%	78	
有形固定資産	863	9.3%	961	10.7%	98	
無形固定資産	232	2.5%	260	2.9%	28	
投資その他の資産	1,598	17.2%	1,551	17.2%	△ 47	
負債合計	5,798	62.4%	5,733	63.7%	△ 65	
流動負債	2,844	30.6%	2,272	25.2%	△ 572	(流動負債) ・買掛金及び短期借入金の減少
買掛金	921	9.9%	637	7.1%	△ 284	
短期借入金	300	3.2%	0	0.0%	△ 300	(固定負債)
1年内長期借入金	785	8.5%	972	10.8%	187	・長期借入金調達に伴う増加
その他	838	9.0%	663	7.4%	△ 175	
固定負債	2,954	31.8%	3,461	38.5%	507	
長期借入金	2,020	21.8%	2,443	27.1%	423	
その他	934	10.1%	1,018	11.3%	84	
純資産合計	3,486	37.6%	3,266	36.3%	△ 220	
株主資本	3,472	37.4%	3,246	36.1%	△ 226	(株主資本) ・親会社株主に帰属する四半期純損失計上により減少
その他包括利益累計額	6	0.1%	8	0.1%	2	
新株予約権	9	0.1%	13	0.1%	4	

2017年2月期 下期取り組み

■ 下期の取り組み

新たな成長商材の育成

- ・ **トレカ事業** . . . **市場拡大に頼らず店舗数拡大を目指す**

FC展開を推進
直営店舗数を拡大
既存未導入店舗への導入



- ・ **既存事業** . . . **中古商材への回帰**

古本及びホビー売場強化を目的とし、
下期中に既存店20店舗以上の改装を計画



- ・ **古着事業** . . . **子会社を吸収合併**

オペレーションの再構築、
キッズ買取等の新しい取り組みを推進



中古商材への原点回帰と新商材取り扱い拡大で新たな成長を目指す

■ 下期の取り組み ①トレカ事業

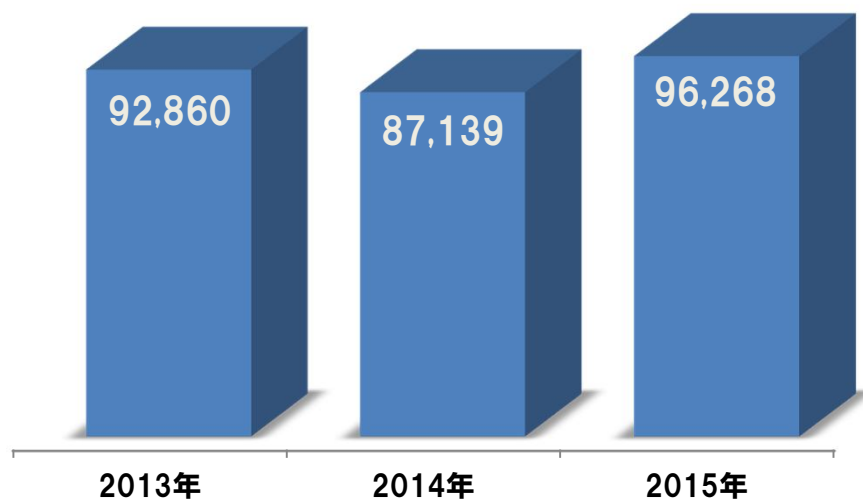
新商材として取り組むトレカ市場は安定した成長を続けている

市場規模は約1,000億円

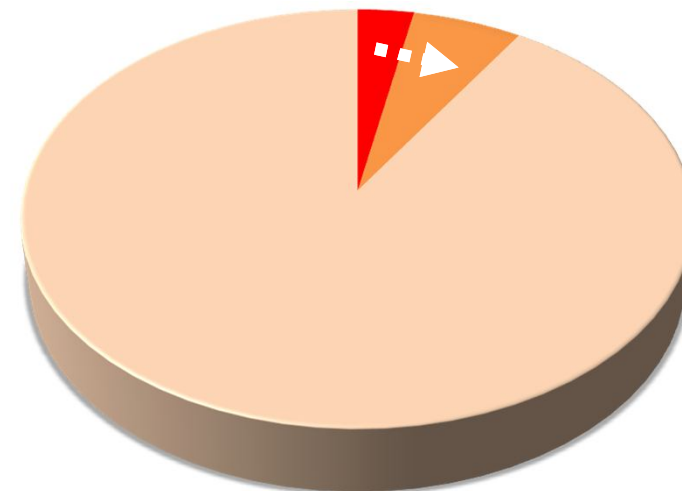
シェアNo.1へ！

トレカ市場規模(新品)

単位:百万円



トレカ市場シェア



参考データ: 2015年度国内玩具市場規模
出所: 一般社団法人 日本玩具協会 トレーディングカード(カードゲームを含む) 上代価格(メーカー希望小売価格ベース)

当社のトレカ売上高は、成長率130%超と大きく伸張
FC店舗と直営店舗の展開でシェア拡大を目指す

■ 下期の取り組み ①トレカ事業

トレカ・・・大きな柱へ育てるため、FC展開（卸売）を強化

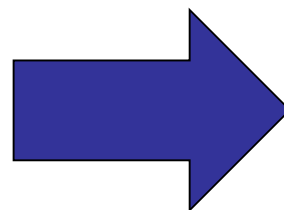
- | | |
|--------------------|------------------|
| ① トレカビジネスのノウハウ | → 140店超の店舗網及び展開力 |
| ② トレカ自動査定システム『ピタカ』 | → 簡単&スピーディー |
| ③ クラウドPOS『ピタポ』 | → 低コスト化 |
| ④ トレカ自動販売機『トレオート』 | → 業界初 |



前期比158%
の成果を以て
外販へ注力

FC店舗数 2016年2月末:

17店舗



2016年9月末:

29店舗

今期中に50店舗を見込む

■ 下期の取り組み ①トレカ事業

トレカ・パッケージモデルで直営店舗数を拡大

- ・ 当期中に直営での新規出店を数店舗予定
- ・ 9月に直営既存店2店舗へトレカパークを導入し、直営全店への導入がほぼ完了



**商品確保、さらなるノウハウ蓄積のため出店を拡大
シェアNo.1を目指す**

■ 下期の取り組み ②既存事業

中古商材への回帰

- ・ 店舗オペレーションの見直しを行い、棚作りを中心に売場を再構築
- ・ 古本及び中古ホビー売場の強化を目的として下期中に既存店20店舗以上の改装を予定
- ・ 買取強化のため、販促手法の見直しを実施



**リユースの原点を見つめなおし、買取強化を推進
品揃えを充実することで、魅力的な売場を展開**

■ 下期の取り組み ③古着事業

古着事業パッケージ「MO-ZEAL（モ・ジール）」

- ・ 2016年6月に当社100%出資連結子会社「株式会社モ・ジール」を吸収合併
- ・ オペレーションの再構築を行い、効率的な店舗運営を目指す
- ・ 9月よりキッズ買取を開始、買取量アップを図る
- ・ 下期中に新コンセプト店舗を出店予定

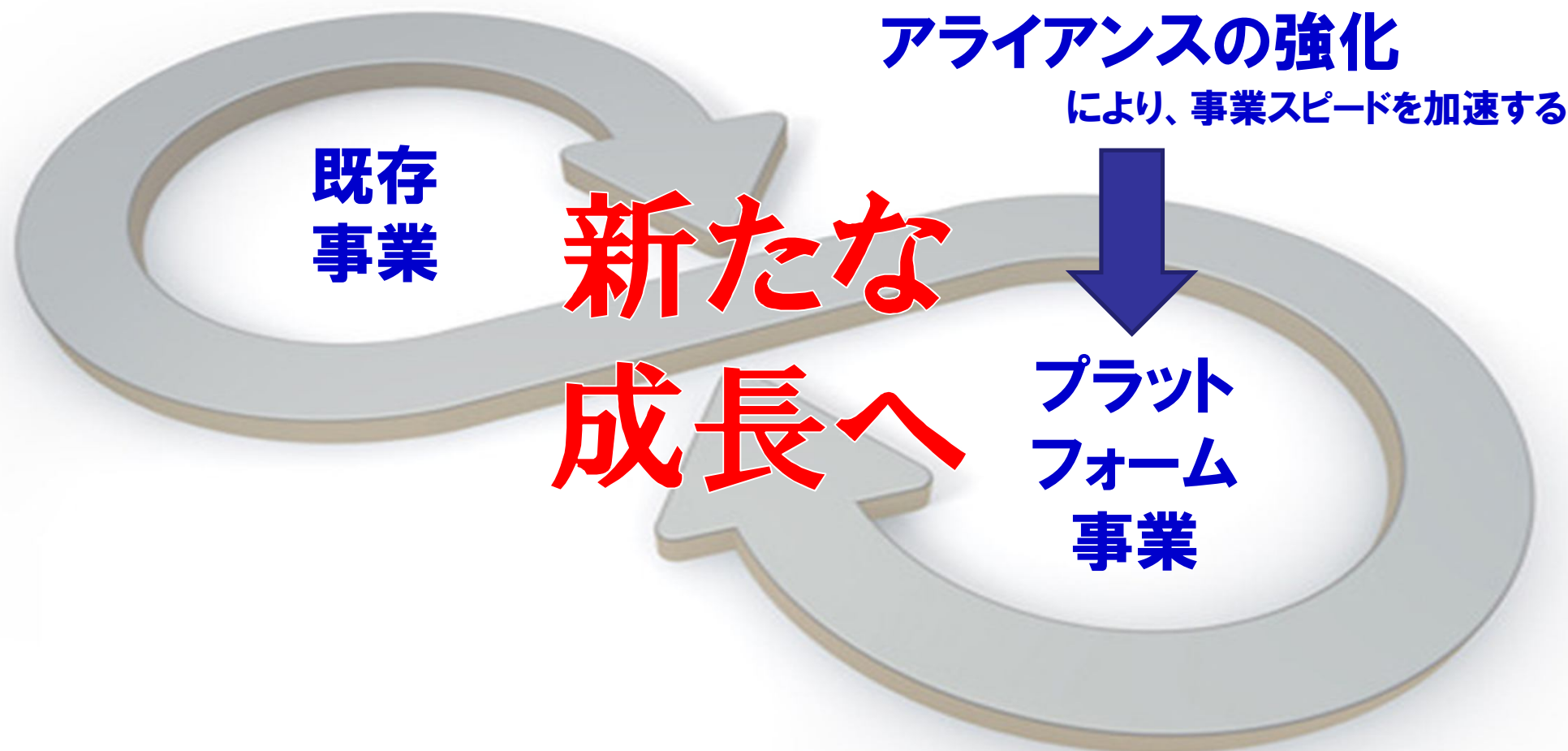


MOZEAL
anniversary
SALE
100% OFF
ALL ITEMS
2,000円以上のご購入で 20% OFF
3,000円以上のご購入で 30% OFF

秋・冬アイテム お売り下さい
高価買取します。
Gator Bag
Bottoms ETC
買取強化アイテム
カットソー・シャツ・スウェット・パーカー・ニット・ジャケット・ブルゾン
アウター・ワンピース・パンツ・スカート・シューズ・バッグ・小物・アクセサリ
ブランド・ノーブランド問わず買取いたします。
1点からお気軽にお持ちください。
MOZEAL

■ 事業が交わることによる当社の新たな成長

既存事業を基盤に、プラットフォーム事業と
アライアンスの強化による新たな成長に取り組む



2017年2月期 通期業績予想の修正について

2017年2月期 業績予想の修正と要因

通期業績予想を2016年4月14日発表時から修正

■通期連結業績予想

(単位:百万円)	2017年2月期 今回見通し	【ご参考】 2016年2月期 実績
売上高	29,230	29,236
営業利益	78	3
経常利益	82	6
当期純利益	27	△149

ゲーム有力タイトルが下期にずれ込むことと、
トレカ・古本の進捗を考慮して通期業績予想を修正
店舗改装、トレカ直営店舗の出店等の計画は継続

2017年2月期 配当予想

配当予想につきましては2016年4月14日発表の通り、
変更はありません

■中間実績と、期末・通期の配当予想について

当社は配当に関して、配当性向25%以上を目処として業績に応じた配当を安定的に実施することを基本方針としております

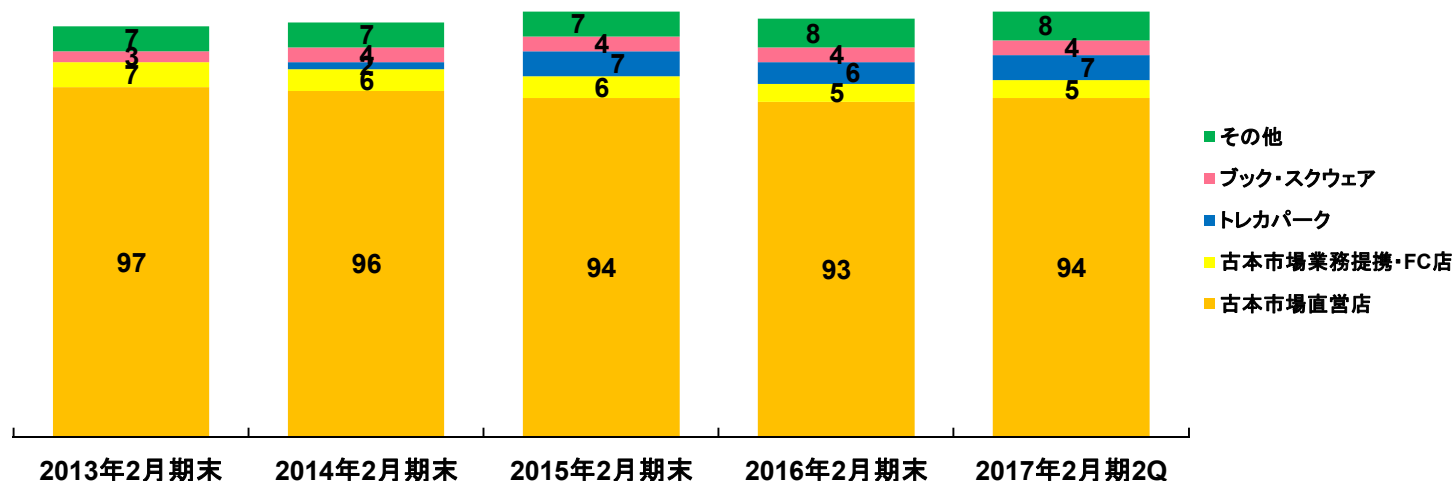
(単位:円)	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
配当金	—	0.00	—	0.50	0.50
前期実績 (2016年2月期)	—	0.00	—	0.50	0.50

■配当性向の実績と計画

	第23期(実績) 2012年3月— 2013年2月	第24期(実績) 2013年3月— 2014年2月	第25期(実績) 2014年3月— 2015年2月	第26期(実績) 2015年3月— 2016年2月	第27期(予想) 2016年3月— 2017年2月
当期純利益	244百万円	△193百万円	△1,355百万円	△146百万円	27百万円
配当金	113百万円	80百万円	25百万円	25百万円	25百万円
配当性向	46.4%	—	—	—	92.6%

參考資料

店舗の状況(2016年8月末現在)



	2016年2月期	2017年2月期 第2四半期			増減数
	期末	出店	退店	期末	
古本市場直営店	93(1)	1	—	94(1)	1
古本市場業務提携・FC店	5	—	—	5	—
トレカパーク	6	1	—	7	1
ブック・スクウェア	4(1)	—	—	4(1)	—
3Bee	1(1)	—	—	1(1)	—
MO-ZEAL	3(2)	—	—	3(2)	—
TSUTAYA(単独店)	2	—	—	2	—
FamilyMart	2	—	—	2	—
合計	116(5)	2	—	118(5)	2

※カッコ内はTSUTAYA併設店となります。

会社概要

社名	株式会社テイツー（英訳名:TAY TWO CO.,LTD.）
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日:JASDAQ
本社	岡山県岡山市北区今村650番111
東京本部	東京都品川区西五反田七丁目1番1号 住友五反田ビル5階・6階
代表者	代表取締役社長 寺田 勝宏
事業内容	1. 古本、家庭用ゲームソフト・ハード、トレーディングカード、CD、DVD等の販売及び買取、CD・DVD等のレンタル、FamilyMart(コンビニエンスストア)の運営 2. インターネットサイト「古本市場オンライン」の運営
従業員数	正社員 289人、パート・アルバイト 1,505人 合計 1,794人（2016年8月末現在）
資本金	1,165百万円（2016年8月末現在）
発行済株式数	52,640,000株:1単元100株（2016年8月末現在）
株主数	6,909名（2016年8月末現在）

ふるほんいちば
古本市場



MCZEAL **3Bee**
REUSE STYLE | USED FASHION

furu1online.net
古本市場オンライン

経営理念

満足を創る

Creating Satisfaction

テイツーの喜びは
お客様に満足を感じていただくことです。

本資料は2017年2月期の業績予想及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2016年10月14日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口:管理本部 経営企画部 TEL:03-5719-4580 E-mail:ir@tay2.co.jp

TAY TWO